



組合員の購読料は  
組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 石上浩一  
編集責任者 常盤達雄

No. 1697 定価  
15円

2008年

4月5日

# 国労加入を 大胆に訴えよう

一を深めたのち、石上委員長の団結ガン  
パローで職場への報告に散会した。

## 神奈川 地域労働運動 交流春闘行動

神奈川地区本部内では春闘行動として、「県  
春闘共闘三・二春の県民集会」、三・一二〇  
八春闘勝利！県交運労協・公務員共闘総決起集  
会、「三・一四」神奈川地域労働運動交流春闘  
一日行動」を取り組んだ。

この時期は、冬から春への季節の変わり目と  
あって、天候の変化が激しく三・二集会は晴天  
三・一二集会では集会時には昼間の暖かさとは  
打って変わっての肌寒い集会となった。

三・一四の一日行動では、朝から天候不順  
一六時からの国労が担当した桜木町・馬車道に  
ある鉄道運輸機構要請では、突風と豪雨で、持  
っていた旗竿が折れてしまうほど強烈なもので  
あったが、悪条件を一掃してしまふほど多くの



仲間が集まった。  
要請行動では、地  
区本部・中澤委員長  
を先頭に闘争団・神  
奈川シテイユニオン  
の代表四名が入り、  
「鉄道運輸機構として  
早急に解決する意志  
を明確にすること」  
「解決に向けて解決交  
渉テーブルを設置し、  
国土交通省にも具体  
的な対応を取るよう働きかけること」等の

内容の申し入れ書を提出した。  
一七時からは関内駅頭でビラまきを行い、  
一八時から大通り公園(石の広場)で総決起  
集会が開催され、朝七時から行なわれた各要  
請行動の報告がされた。  
集会の最後に、地区本部中澤委員長の力強  
い「団結ガンパロー」を受け、デモ行進に入  
った。  
国労が先頭となり、地区本部粉川共闘部長  
のシュプレヒコールと共に、時折春雷が鳴り  
響き傘もさせない悪天候の中、横浜スタジア  
ムを通り馬車道から桜木町駅前までのデモを  
貫徹した。



三月一日、国労東京全分会長会議が都  
内で開催された。

山本副委員長の司会で始まり、石上委  
員長が「〇八春闘は貨物労働者の生活改  
善を始めとして労働者全体の底上げを闘  
いの課題とし、そのため、未組織労働  
者・非正規労働者と共に要求の達成に向  
けて取り組む。また、今年は何と

# 3・1 組織の強化拡大を 全分会長会議で意志統一

も組織の強化拡大を最重要課題として取  
り組む」との挨拶を行った。

次に、本部・濱中書記長から、①採用  
差別事件の現状、②貨物和解調査の経過  
と現段階を、東日本本部・高野書記長か  
ら、①〇八春闘、②一括和解後の状況、  
③新規採用者対策を始めとした組織対策  
などが報告され、数名の分会長から質問  
意見が寄せられ、それぞれ答弁を受けた。

続いて、昨秋闘で非正規労働者の正規  
化を求めてストライキを設定し脚光を浴  
びた、相模鉄道労働組合・本間副委員長  
から「二〇〇〇年の合理化で三つのバス  
営業所の分社化に伴い、甘い判断で希望  
退職募集を受けた。これは首切りだった。

この教訓をテコに闘いをつくり直し、賃  
上げゼロ・住宅手当半減だったが、〇四  
春闘で契約社員三四人の正社員化を勝ち  
取った。でも賃上げゼロ・住宅手当半減  
はあとで取り返した。昨年は三年経った  
嘱託社員の正社員化を勝ち取った。組合  
員ではなくても非正規雇用者を守る闘い  
は皆の共感を得た」との闘争報告を受け  
た。報告は全参加者の共感を得、共闘の  
意思を明らかにした。この報告の詳細に  
ついては、別途お知らせする。

最後に、東京地本・松川書記長から、  
①組織強化拡大の取り組み、②エルダー  
社員に関する取り組み、③〇八春闘、④  
JR不採用事件、⑤JR東日本会社を取  
り巻く問題、⑥貨物関係、⑦その他につ  
いて、詳細に亘り提起が行なわれ意思統

## 連載企画 分会紹介 ①青梅駅連合分会

今回から毎号、各地区本部・支部から  
様々な分会を紹介します。第一回目、八王  
子地区本部の青梅駅連合分会をとりあげ  
る。

### 助勤先は二駅先・電車で四〇分

青梅駅連合分会は、青梅線の東青梅と  
多摩駅間の組合員で構成されている。この  
区間の一四駅中JR直轄の駅は青梅駅・奥  
多摩駅のみ。東青梅駅・御嶽駅が業務委託  
駅(かいじ企画)になっている。その他は  
地元シルバー人材センターへの委託と無

## 大井工場 カベ新聞・チラシ配布 春闘行動・学習会

支部の〇八春闘の取り組みは、二月二  
〇日の「スト権学習会」を皮切りに、三  
月三日から各分会と支部による春闘カベ  
新聞のリリース。一〇日からは創意工  
夫して作った春闘チラシを東京総合車両  
センター門前で六日間朝、延べ三〇〇〇  
枚を配布した。

地域共闘では二月二六日の品川区怒り  
の総行動を始め、新橋支部春闘総行動に  
連動させた貨物総行動、東京地裁前行動



を展開、一四日の  
最終日に動員を集  
中した。  
春闘終盤の三月  
二日に地本・宮崎  
組織部長を招き、  
〇八春闘をめぐる  
情勢と組織強化・  
拡大学習会を行っ  
た。今年の春闘は  
低賃金回答に終わ  
ったが、組合員の  
団結により充実した闘いが出来た。  
四月二日に春闘の締めとして花見を開  
催、更に春闘壁新聞とチラシの表彰を行う。



奥多摩駅舎

日常的な話し合いの  
場を継続的に持ち、  
少しでも会社で改善  
させる為に粘り強く  
要求していく。また、  
青梅駅には二〇代の  
若い社員の配置があ  
り、地区本部の組織  
拡大重点分会に指定  
されたが、少しづつ  
時間をかけて呼びか  
けていきたい。

分会では組合員が働きやすく、健康で明るい  
職場にするため、分会執行部・組合員が一丸  
となって、これからも地区協・地区本部・地  
本の仲間と共に頑張っていきたい。

# 新橋 春闘総行動

今年で一八年目となる支部統一行動を三月一日(一四日)の四日間で開催した。

今年初日を各地区総行動(七地区協議会)とし、独自に企画し取組んだ。春闘学習会及び地域での街宣活動と地区ごとの創意工夫。支部と四回にわたる打合せなど、地区協役員の職場オルグと実行に向けて前段の取組みを行ってきた。



一日目は、各職場とも会社のダイヤ改正に併せた勉強会が重なっていたが、一七四名の組合員が参加した。

二日目は、貨物本社前にて全国貨物協総行動と合流し、一三名の組合員・家族会の参

# エルダーも国労で闘おう

前略  
ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。  
永年に亘り、国労組合員として、国労運動にご尽力をされました事に、衷心より感謝申し上げます。

さて、周知の通り、「年金支給開始年齢の段階的引き上げ」という、年金制度の改悪に伴い、私たちは定年年齢の引き上げを要求して闘いつづけてきましたが、JR東日本会社は、こうした情勢の変化に対して、昨年3月30日、従来の「再雇用機会提供制度」を改正し、希望者全ての社員を対象にした「新たな再雇用制度(エルダー制度)」導入を提案してきました。

国労東日本本部が、皆さんの要求や意見を聴きながら、対策会議や交渉などを精力的に開催し、昨年6月8日妥結致しました。

こうした到達点のもと、第178回拡大中央委員会、第25回東日本本部拡大委員会、第97回拡大地方委員会などを踏まえ、エルダー社員・嘱託社員で国労組合員に継続加入する場合の手続きについて決定いたしましたのでお知らせいたします。

つきましては、大変恐縮ではございますが、引き続き国労組合員として継続していただき、後輩を育て、壮大な国労とするための手助けをお願いする次第です。

継続手続きなどの詳細については、国労分会より説明致しますが、継続確認書に必要事項を記入し、国労分会に提出いただければ幸いです。

折りしも、JR不採用事件が山場を迎えている現在、引き続き国労組合員として、共に歩まれることを期待しています。

先輩諸氏からの、ご意見・ご要望には、これからも真摯に対応していくことを申し上げ、お願いと致します。

早々

2008年4月吉日  
国鉄労働組合東京地方本部  
執行委員長 石上 浩一

シもゆつくり食べられない」「一徹一日勤なのでは一日一人出札。電車がなくなり、遺失物の扱いが非常に多く、引渡しも含め一人ではやりきれない」「出札がカエル化で無くなり合理化。発売をしないので業務知識がなくなっている。一部のカエル駅では本来やるべき切符の払い戻しを断っている」といった合理化のシワ寄せが社員にも利用者にもかかっている実態が出された。

分散会報告ののち、横森書記長の集約では駅の委託化の問題や組織強化拡大に力を入れ

加でデモ行進に突入。

三日目(一三日)は、鉄道運輸機構判決に八四名の組合員・家族会が参加し東京地裁(中西茂裁判長)の不当判決に対し、怒りのシュプレヒコールが響き渡った。

四日目の最終日は朝からあいにくの雨だったが、それぞれ各地区とも駅頭宣伝を闘争団の仲間と共に行い、昨日の「不当判決」や「安全問題」などを利用者に訴えた。本部以下の統一行動集約集会には組合員・家族会の四〇〇名が結集し、濱中書記長(本部)・松川書記長(地本)より情勢と問題提起を、地域では南部全労協の藤村事務局長より共闘の挨拶をいただき、支部野沢青年部長の団結頑張ろうでデモ行進にうつった。

本部から旧国労本部の鍛冶橋までを整然とデモ行進し、四〇〇名のシュプレヒコールが銀座の町に響き渡った。

## 八王子 仕事・安全総点検 職場交流会開催

八王子地区本部では毎年春闘期に仕事・安全総点検職場交流会を行っており、今年も



三月二二日に立川の三労働会館で約八〇名の参加で開催された。

小山委員長の主催者あいさつ、横森書記長の交流会提起が行われ、エリア高野書記長から、春闘・不採用事件・労働条件改善・組織強化拡大などについて情勢報告がされた。続いて岩元本部青年部長にわざわざ長崎から参加していただき、特に組織拡大について「東京と近畿で頑張っていたら元気を元気にしてほしい」「結果はついてこないかもしれないが、やらなければゼロ」「国労は宣伝がヘタ」など、青年部らしい訴えがあった。

昼食休憩をはさんで午後は各系統ごとに一二の分散会に分かれ、二時間二〇分にわたり職場交流を行った。合理化・委託化が激しい職場からは「一日中ひとり。休憩時間は改札を閉めるが、窓をたたかれば行かざるをえず、この超勤が一日二時間近くになる。メ

## 上野 春闘総決起集会

二月二一日、支部の大きな春闘の柱である「国労上野支部春闘勝利総決起集会」を北区岸町ふれあい館で開催した。組合員役員合わせて約九〇名が参加し、情勢と当面する課題について学習した。

内容は、①「二〇〇八春闘の現状と課題について」と題して、春闘情勢と賃上げ、諸制度改善の申入れと和解以後の差別根絶の取り組みについて、高野・東日本本部書記長から、②「東京における取り組みと課題について」は、組織拡大の取り組みを軸に、松川・地本書記長から、③「貨物会社における春闘の現状と課題」で貨物の和解の問題、八年連続ベア打破に向けた取り組みは、斉藤・関東貨物協議長から、④「闘争団からの報告」として、裁判の状況、四者四団体の現状と闘いを、小野・闘争団全国連絡会議副議長より講演をいただいた。

鈴木・支部書記長からは、春闘、職場での申入れ行動、組織拡大、エルダー・嘱託社員の組織化についての提起が行われた。



上野支部春闘総決起集会

その後、交運(マイカー)共済推進運動優良職場、上野駅・上野保線技術セ・上野車掌区の表彰が行われた。

最後に常磐地区の東さんと、青年部代表として彦田さんから「来年の〇九春闘決起集会には是非仲間を増やし(加入させて)ここに連れてき

## 工作協 三年ぶりのレク開催

二月二三日、東京工作協議会は三年ぶりにレクを開催した。当日は晴天に恵まれ、昨年一〇月にオープンした鉄道博物館見学の後、別会場で交流会を行う内容で、家族含めて三〇人が参加した。

一〇時三〇分に



鉄道博物館前に集合、入口前において開会式を行い、佐藤議長から「九月に予定していたレクが悪天候のため中止となったが、久しぶりに東京工作としてレクを開催することができた。『車両メンテ近代化第三期』施策が進行しているが、当初の状況に大きな変化や施策の矛盾も生まれてきている。東京工作として検証し、見直しを求める取り組みを強めていきたい。今日は、楽しい一日にしましょう。」と、あいさつ。SLのカットモデル前で記念撮影し、鉄道博物館見学となった。

見学後の交流会は、準備支部を代表して大宮工場支部の宇塚副委員長の乾杯で始まり、鉄道博物館見学の感想などで交流を深めた。後半では、関東三工場時代だった大宮・大井・大船を結ぶ京浜東北線・根岸線の駅名を使ったビンゴゲームが行われ、あがりのくじ引きでの景品に「当たり」と「ハズレ」に会場のムードは最高潮となった。レクの締めくくりは、佐藤議長の見学感想を披露した。終了後に事務局は、組合員相互の交流や連帯感を深めることができるレクの重要性を再認識した一日であったと、次回も企画していくことを確認した。最後に計画の段階から下見や準備に奮闘していただいた大宮工場支部にお礼を申し上げる。